

くみあいニュース

山口大学教職員組合 (2025 年 10 月 14 日 Tuesday)

第 296 号 (2024 年度-第 8 号) / 電話 : 083-933-5034 ・ メール : fuy-union@galaxy.ocn.ne.jp

学長への質問状(10/2)への回答 延伸の後 10/10 に提示

組合が 10 月 2 日 (木) に回答期限を 10 月 7 日 (火) までとして学長宛に提出した「授業料改定に関するお尋ね」への回答について、指定日の 7 日午後に事務方責任者の湊学生支援部長と小笠原財務課長が組合事務所へ来室し、回答期限延伸の申し出がありました。両氏はそのさい、同日午前 10 時から開催された第 254 回部局長会議に提示された「授業料改定について」とする協議資料(改定時期、改定額、増収分の使途、経済的支援の取り組み部分は未定稿)を持参し、質問に対する回答に係る箇所については概要説明を行いました。回答の提示については 10/10 (金) に 1 次回答後、10/14 (火) に 2 次(最終)でとのことになりましたが、10 月 10 日 (金) に一括回答が届きました。(2 頁～3 頁に掲載 ※質問項目など組合の注釈入り)

教職員へ説明もせず「ご理解とご協力」「ともに行動」とは・・・

回答は、本文 4 ページに資料 30 ページ程でしたが、学費値上げについては昨年度および今年度部局長との懇談会で話題にした他は、9 月 9 日 (火) 第 270 回教育研究評議会と 9 月 24 日 (水) 第 129 回経営協議会を除く諸会議には出してこなかったことが明らかになりました。9 月 24 日の役員会にも諮らずに学長メッセージ公表後、10 月 7 日の部局長会議で「授業料の改定について」との資料により値上額・対象者・時期・決定までの日程等の全体像がようやく示されました。その一方で 9 月 24 日の経営協議会では、すでに 10 月 30 日 (木) に学長会見を行うことを決めていたことも明らかになりました。そうした状況であるのに回答では、山大構成員に「ともに行動してもらいたい」、「関係各位のご理解とご協力をお願いしたい」と目を疑うような文言が書かれていました。



もし、値上げを強行したとしても来年度の増収額は 2 億円程度であり授業料免除枠拡大分約 5 千万円を除けば 1 億 6 千万円程度です。今必要なことは全国の大学と連携して学費値上げ中断のための予算措置を求める声を大きくあげ、文科省を含めて国立大学の財政危機打開へもっと踏み出す行動ではないでしょうか。

ようやく部局長会議(10/7)で授業料値上げの全体像提示

9 月 9 日の教育研究評議会では、埼玉大学と文科省の資料のみで山大での具体案は示さず、学長が口頭で値上げの検討を進めると「発言」したのみとのことでしたが、その後の進め方は極めて拙速かつ強引としか言いようがなく、組合事務所を訪れた方からも「決め方がまるで独裁政権のようだ」、「教職員・学生を軽視している。こんなやり方をする執行部には失望しかない」など非難の声が上がっています。このまま 10 月 30 日 (木) の「学長会見」で終わらせては山大の今後の大学運営の在り方に禍根を残します。10 月 14 日 (火) の教育研究評議会、その後の各学部等教授会での良識あるみなさんの対応が重要です。

山大生から学費値上げ反対の声！Xへ抗議声明(10/4)



10 月 4 日、「山口大学学費値上げに反対する有志の会」が X (旧ツイッター) 上で「抗議声明」を発しました。この声明はわずか 2 日後の 6 日の朝には表示が 3 万を超えるなど内外の関心が高いことを示しました。その後有志の会は、抗議声明発表に続いて 6 日午後には学長宛の

「要請書」を大学に届け、7 日には山口県政記者クラブにプレスリリースしたとのことです。続いて 11 日にはオンラインで署名(右 2 次元バーコード参照)と「生の声アンケート」を始めています。さらに、10 月 22 日 (水) 昼休みに広大・九大とで 3 大学合同反対集会開催を決めたとのことです。

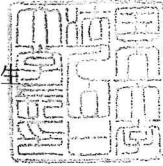
山口大学学費値上げに
反対する有志の会による
オンライン署名サイトは
こちらから→→→



令和7年10月10日

山口大学教職員組合
執行委員長 三原 敏秀 殿

国立大学法人山口大学
学長 谷澤 幸生



授業料改定に関するお尋ねへの回答

令和7年10月2日付けでお尋ねのありました件について、下記のとおり回答します。

記

1. について *組合注※「9月25日の公表を決定するまでの経過と説明内容について」※以下「*注」

＜各部局との意見交換（令和6年度）＞ *注「2024年(R6年)8月23日～10月7日に開催」

- ①開催日時等 別紙のとおり
- ②概要 別紙のとおり
- ③使用した資料 なし

＜各部局との意見交換（令和7年度）＞ *注「2025年(R7年)8月6日～9月10日に開催」

- ①開催日時等 別紙のとおり
- ②概要 別紙のとおり
- ③使用した資料 別紙のとおり

＜第270回教育研究評議会＞ *注1「9月9日開催」

- ①概要 確認中 *注2「評議会で確認後、提示予定」
- ②使用した資料 別紙のとおり

＜第129回経営協議会＞ *注「9月24日に開催」

- ①概要 出席者に確認中 *注2「出席者に確認後、提示予定」
- ②使用した資料 別紙のとおり

＜第325回役員会＞ *注「9月24日に開催」

役員会において取り扱っていない。

2. について *注「授業料改定対象者の明示および改定予定額等の提示について」

【授業料改定対象者及び改定予定額等】

＜総論＞

現在は、下記のとおり改定することを考えている。

○学部、大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程含む）は、現行の授業料標準額に20%上乗せする。

現行：535,800円 ⇒ 改定後：642,960円（107,160円増、標準額の20%）

○大学院博士後期課程（医学系研究科医学博士課程、共同獣医学研究科博士課程含む）は現行どおりとする。

○入学科、検定料の改定は行わない。

○留学生の授業料は改定後の授業料に準ずる。

＜各論＞

(1) 学部

①改定の時期

令和8年4月入学者より適用

②授業料改定による増収額

初年度：205,640,040円 = 1,919名 × 107,160円

完成年度：851,707,680円 = 7,948名 × 107,160円

(2) 大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程含む）

①改定の時期

令和9年4月入学者より適用

②授業料改定による増収額

初年度：58,080,720円 = 542名 × 107,160円

完成年度：116,161,440円 = 1,084名 × 107,160円

(3) 大学院博士後期課程（医学系研究科医学博士課程、共同獣医学研究科博士課程含む）

⇒改定しない。

(4) 学部（3年次編入）

①改定の時期

令和10年4月入学者より適用

②授業料改定による増収額

初年度：2,143,200円 = 20名 × 107,160円

完成年度：4,286,400円 = 40名 × 107,160円

(5) 学部（医学部2年次編入）

①改定の時期

令和9年4月入学者より適用

②授業料改定による増収額

初年度：1,071,600円 = 10名 × 107,160円

完成年度：5,358,000円 = 50名 × 107,160円

【増収分の使途等】

「教育研究環境整備」の具体的内容については、これまでに行った学生アンケートの結果に加えて、学生説明会（令和7年10月8日開催）やご意見受付フォームにおける要望等をしっかり吟味したいと考えている。本年9月25日に公表した“学長メッセージ”において、具体例を示したものの、財源との兼ね合いから、優先順位を付した上で、計画的に整備を進めていかなければならない状況であり、予算措置見込額についても、精査中である。

「経済的支援の充実」については、「高等教育の修学支援新制度」の家計基準等を踏まえた運用を予定している。また、当該制度と申請手続きが重複しない運用とし、学生への負担軽減にも努めたいと考えている。

いずれにしろ、10月末を目途に改定内容を決定・公表することとしており、それまでの間、熟考を重ねたいと考えている。

3. について *注)「学長メッセージの公開方法について」

今回の授業料改定は、令和8年4月以降に入学を希望される方が対象であることから、一義的には、まずはそちらに向けて、私（学長）の決意と約束を直接お伝えすることが筋であると考えている。

その上で、本学の構成員には、本学の信念と決断として、令和8年4月以降に入学を希望される方を受け入れるために、ともに行動してもらいたいと考えている。

そのため、10月末を目途に改定内容を決定・公表する際に、私（学長）自ら記者会見を開き、説明することを予定している。引き続き、関係各位のご理解とご協力をお願いしたい。

4. について *注)「意見受付フォームについて」

「ご意見受付フォーム」を通じて寄せられるご意見・ご要望等については、全て目を通すことにしている。

また、寄せられたご意見・ご要望等は、随時確認することができることから、期限まで確認を先延ばしする必要はなく、都度、報告を受け、検討の参考とすることから、「わずか数日で十分な検討ができるのか疑問を感じざるを得ない」とのご指摘には当たらないものと考えている。

そのため、少しでも多くの方からご意見・ご要望等を寄せられる機会が得られるよう、期限を決定・公表の時期の直前までとしたものである。

なお、準備が整い次第ではあるが、いただいたご意見・ご要望等をまとめ、本学の考え方をホームページに掲載することを予定している。

5. について *注)「学長による説明会について」

令和7年10月8日12:10より「授業料改定に関する学生説明会」を常盤地区で開催した。講義時間やアルバイト等の課外活動への配慮から、昼休みに開催することとした。

今回の授業料改定は、在学生を対象としたものではないものの、令和9年4月以降、大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程）に進学する方は授業料改定の対象とする予定である。そのため、本学の大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程）に進学する者が最も多い工学部の学生に、私（学長）の決意と約束をお伝えし、ご理解とご協力をお願いするとともに、令和9年4月以降の大学院進学に向けた準備をお願いしたいと考え、常盤地区で開催することとした。

説明会では、私（学長）の決意と約束をご理解いただけるよう、しっかりお伝えし、また、学生との意見交換（質疑応答）を通じ、令和8年4月以降に入学を希望される方が、学修者本位の教育と学びの質の向上を実感してもらえるよう、どのような取組が期待されるのか等について、ともに考え、共有したいと伝えている。

なお、学生説明会は吉田地区及び小串地区にもオンライン中継するとともに、学生説明会に参加できない学生のため、当日の様子を動画で撮影し、後日、学内のWEBサイト（Moodle）で公開することを予定している。

同様に教職員に対しても、オンライン（Moodle）で閲覧できるよう速やかに準備を進め、本学の信念と決断として、令和8年4月以降に入学を希望される方を受け入れるために、ともに行動してもらいたいと考えている。

6. について *注)「公表時期と山口大学への社会的信頼維持について」

「学長メッセージ」の公表時期が、令和8年度総合型選抜の実施前という、受験生の皆様にとって大事な時期の公表となったことについて、本学としても大変難しい決断であったこと、今回の授業料改定は、山口大学が「知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学」として、未来に向けてさらなる飛躍を遂げるための、不可避かつ責任ある決断であることをご理解いただきたいと考えている。

また、授業料改定によって、志のある学生が経済的状況により本学で学ぶ機会を逸することがないように、経済的支援の充実も検討しているところであり、総合型選抜の合格発表の前である10月末を目途に改定内容を決定・公表することとしている。

令和8年4月の入学者の受け入れに万全を尽くしてまいりたい。

以上

【山口大学の授業料改定による収入増と経済的支援所要額調べ（2025/10/7第254回部局長会議協議資料より）】

2025年10月 山口大学教職員組合作成

年度	2025年度	2026年度	値上げ額
額	535,800	642,960	107,160

区 分	学生定員(人)	授業料収入(2025)	授 業 料 増 収 見 込 額 (単位:円)											
	2025	標準額どおり	2026	学部引上げ 初年度	2027	2年目	2028	3年目	2029	4年目	2030	(医学部2年次編入 引上げ 4年目)	2031	引上げ 完了年度
	R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13	
学 部 生	7,948	5,110,246,080	1,919	205,640,040	3,838	411,280,080	5,757	616,920,120	7,948	851,707,680	7,948	851,707,680	7,948	851,707,680
大学院前期課程 (修士・専学)	1,084	696,968,640	-	-	542	58,080,720	1,084	116,161,440	1,084	116,161,440	1,084	116,161,440	1,084	116,161,440
学部 (3年次編入)	40	25,718,400	-	-	-	-	20	2,143,200	40	4,286,400	40	4,286,400	40	4,286,400
学部 (医学部2年次編入)	50	32,148,000	-	-	10	1,071,600	20	2,143,200	30	3,214,800	40	4,286,400	50	5,358,000
大学院博士課程 (現行のまま)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	9,122	5,865,081,120	1,919	205,640,040	4,390	470,432,400	6,881	737,367,960	9,102	975,370,320	9,112	976,441,920	9,122	977,513,520

経済的支援所要額	2026	46,328,840	2027	100,355,340	2028	154,131,800	2029	200,424,920	2030	200,424,920	2031	200,424,920
そ の 他 経 費	R8	159,311,200	R9	370,077,060	R10	583,236,160	R11	774,945,400	R12	776,017,000	R13	777,088,600

＊文科省標準額から値上げした大学は、東京工業大学（2018年）・東京芸術大学（2019年）、一橋大学・東京医科歯科大学・千葉大学（2020年）に続いて、2024年には東京農工大学、2025年に東京大学（2025年）が引上げましたが、すべて首都圏の大学となっています。なお、2024年10月1日に東京工業大学と東京医科歯科大学が統合して東京科学大学となり値上げ大学は6大学であり、引き上げ額は東京工大の119%以外はすべて引上げ限度額の120%となっています。さらに、名古屋工業大学が2026年度からの2割引き上げを決め、埼玉大学は10月10日に引上げを公表しました。

＊山口大学の令和5年度（2024年度）決算報告書によれば収入総額は599億円ですが、附属病院収入の286億円（すべて附属病院の診療経費に充当）を除くと313億円となっています。収入では運営費交付金125億円と授業料・入学料等61億円で186億円とほぼ6割を占めています。